

令和 4 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立港区民センター、大阪市立港近隣センター
施設所管課・担当	港区役所協働まちづくり推進課（担当：小濱・柳）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与する。
業務の概要	（１）貸館運営業務 （２）施設総合管理事務
成果指標	利用率、利用者満足度
数値目標	利用率 港区民センター：82％ 港近隣センター：50.4％ 利用者満足度 港区民センター：80％ 港近隣センター：80％
指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日（港区民センター：令和 6 年 3 月31日）
評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

	港区民センター		港近隣センター	
成果指標	利用率	利用者満足度	利用率	利用者満足度
数値目標	82.0%	80.0%	50.4%	80.0%
年度実績	65.7%	98.4%	39.8%	100%
達成率	80.1%	123.0%	79.0%	125.0%

利用状況（港区民センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	99,537	75,992	23,545
利用率	65.7%	54.8%	10.9%

利用状況（港近隣センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	36,540	25,042	11,498
利用率	39.8%	27.7%	12.1%

3 収支状況（2 館一括）

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	41,565,923	42,521,000	4,812,923	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用料金収入の減少及び消毒薬等の消耗品費の増加 ・電気及びガス代等のエネルギーコスト高騰に伴う管理運営経費支出の増加
	計画	36,753,000	42,521,000		
利用料金収入	実績	16,510,460	13,944,980	-1,874,540	
	計画	18,385,000	12,518,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	3,446,410	2,089,567	-486,890	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限による収入減
	計画	3,933,300	3,933,300		
合計	実績	61,522,793	58,555,547	2,451,493	
	計画	59,071,300	58,972,300		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	34,755,504	34,569,324	0	
	計画	34,755,504	33,501,324		
物件費	実績	23,591,469	21,062,562	3,208,973	
	計画	20,382,496	20,845,476		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	3,601,320	2,306,777	872,220	
	計画	2,729,100	2,729,100		
合計	実績	61,948,293	57,938,663	4,081,193	
	計画	57,867,100	57,075,900		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率（港区民センター）	80.1%	B	専ら新型コロナウイルス感染症の影響に伴う未達成であるため評価を修正
利用者満足度（港区民センター）	123.0%	S	
利用率（港近隣センター）	79.0%	B	専ら新型コロナウイルス感染症の影響に伴う未達成であるため評価を修正
利用者満足度（港近隣センター）	125.0%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・軽微な修繕については、指定管理者職員自ら行うことで、経費の削減に努めている。 ・待機電力の削減、不要な照明・空調等をこまめに消すなど光熱水費等の経費削減に努めている。 ・コピー用紙の裏面再利用など消耗品の節約に努めている。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限が繰り返されたが、利用者への迅速・適切な対応を行った。
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	・SNSの活用や施設の紹介を主としたおたよりの作成など新規利用者の獲得を目指した取組を実施している。 ・地域に居住する外国人との多文化共生の取組として市岡日本語教室を開催し、外国人の地域コミュニティへの参加の促進を図っている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

【実施方法】 アンケート形式
【実施期間】 第 1 回 令和 4 年 9 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日 第 2 回 令和 5 年 2 月 1 日～令和 5 年 2 月 28 日
【回答数】 第 1 回 206 件 第 2 回 204 件
【アンケート項目】 「施設を何で知ったか」、「施設利用を決めた理由」、「予約方法」、「利用した部屋」、「利用満足度」、「利用してみたいサービス」
【結果】 利用満足度について、「①予約までの流れ」、「②スタッフの対応」、「③施設の清掃状況」、「④備品や設備」、「⑤ホームページの分かりやすさ」、「⑥感染症防止対策」の項目別に検証を行い、①～⑥の項目について、両センターとも概ね満足度が高いことが確認できる。

6 外部専門家意見

・利用者の利便性向上を図るメールでのサービスや、施設の有効利用として和室に撮影機材を設置し利用促進を図る等、指定管理者の取組として評価できる。
・利用者満足度のアンケートについて、項目に「利用して変化したこと」を追加するなど、より良い指標となるよう工夫されたい。

令和 4 年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染症の影響に考慮して評価
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B+	施設の有効利用や利用者満足度の向上を目指した取組を評価
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	